

元気からだ! Q&A

男性乳がん Q&A

〜知っておきたい6つのこと〜

千葉県がんセンター乳腺外科

なかむらりきや
中村力也 医師

Q1 乳がんは女性特有の病気なのでは？

A いいえ、乳がんは男性にも発症する病気です。男性乳がんは全乳がんの約0.7%を占め、日本では年間約700人程度が診断されています。数は少ないものの、高齢化に伴い増加傾向にあります。現在、男性の800人に1人が生涯に男性乳がんを発症すると推定されています。

また、男性乳がんの罹患率は年齢とともに上昇し、70歳代がピークとなります。女性乳がんが40〜50代に多いのとは異なるパターンです。男性にも乳がんが起り得ることを正しく知っておくことが、早期発見への第一歩です。

A Q2

どんな人になりやすいの？

男性乳がんのリスク因子には、次のようなものがあります。

● 家族歴（乳がん、卵巣がん、膵臓がんのある家系）

● 染色体異常

● BRCA1/2 遺伝子変異（特にBRCA2はリスク大）

● Klinefelter（クラインフェルター）

症候群（性染色体の異常があり乳腺の発達やホルモン異常、不妊が特徴）

● 内因性ホルモン異常をきたす病態

● 肥満

● 肝硬変

● 前立腺がんのホルモン療法中

● 精巣異常（停留精巣、思春期前の流行性耳下腺炎による睾丸炎）

● 若年期の胸部への放射線照射歴

これらの因子が複数重なる場合は特にリスクが高まり、注意が必要です。

また、重要な点として、男性乳がん患者の約90%は家族歴がありません。

つまり、家族歴がないからといって安心できるわけではなく、誰にでも発症の可能性のあることを認識しておく必

要があります。

A Q3

主な症状は？（痛みやかゆみなどの症状はあるの？）

男性乳がんの初期症状で最も多いのは、無痛性のしこり（腫瘤）です。乳首の下に硬いしこりがで

きるのが典型です。加えて次のような症状があります。

● 乳頭の変形や陥没

● 異常な乳頭分泌（血液を含むことも）

● 乳頭や皮膚のただれ・湿疹状変化

● 皮膚のひきつれや凹み

● 脇の下のしこり（リンパ節腫脹）

痛みやかゆみは少なく、自覚しにくいため、違和感があれば早期受診が重要です。

A Q4

診断・検査方法は？

男性乳がんの診断方法は、基本的に女性乳がんと同様です。

まずは視診・触診が行われ、必要に応じて次の検査が実施されます。

● 超音波検査（エコー）

● マンモグラフィ

● 細胞診・針生検（組織を採取して顕微鏡で診断）

また、遺伝性乳がんが疑われる場合は BRCA1/2 遺伝子検査が行われることもあります。家族歴や本人の病状に応じて、遺伝カウンセリングの対象となることもあります。

AQ5

予防（自己検診など）について

乳がんを完全に防ぐことは難しいですが、早期発見が治療効果を高める鍵になります。

- 月1回程度、鏡の前で乳頭や胸の左右差、皮膚の異常をチェック
- 硬いしこりや分泌物があれば速やかに受診

- 家族歴がある方は、医師による定期的な診察や遺伝カウンセリングを検討

また、肥満の是正や肝機能の管理も、ホルモンバランスの正常化に寄与し、リスク低減に役立ちます。

AQ6

受診料について

乳がんの診察や検査は健康保険の適用対象です。3割負担の方であれば、初診・エコー・細胞診などを合わせて数千円～1万円程度が

月に1度のセルフチェックで早期発見対策を！

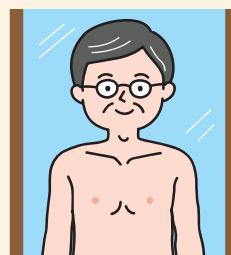
<見て確認！>

乳頭の異変チェック

- ・分泌物（透明・赤色・白色など）
- ・変形（凹み・ただれなど）

皮膚の異変チェック

- ・皮膚のくぼみ
- ・しこりや腫れ
- ・痛みやただれ など



※「いつもと違う」に気づくために普段の自分を覚えておきましょう！

<触って確認！>



① 上から下に

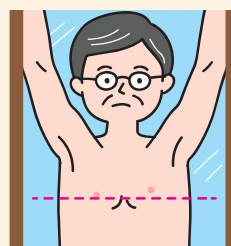
② 外から内に

③ 「の」を書くイメージで

<両手を上げて確認！>

乳頭の左右位置チェック

左右差があるか確認する



一般的です。

また、遺伝子検査（BRCA1/2）も、医師が医学的必要性を認めた場合は保険適用になります。保険診療では3割負担で6万円程度です。また、家系内ですでに診断がついている方がいる場合は約2～7万円（検査会社によって異なります）です。

自由診療となる場合は、施設にもよりますが10万～20万円程度かかることがあります。費用については事前に医

療機関での確認が必要です。

おわりに

男性乳がんは稀な^{まれ}ながら、誰にでも起こりうる現実的な疾患です。「まさか自分か」と思わず、違和感に気づいたらためらわずに受診を。正しい知識が早期発見と治療につながります。あなた自身と大切な人の健康を守るために、ぜひ意識していただきたい疾患です。